

株式会社佐々木精工

大分県豊後高田市

生産性向上
ものづくり

経験とテクノロジーの組み合わせで 幅広いニーズに素早く・的確に対応する

豊後高田市内の地場企業として1985年に設立。生産用機械器具製造を行っており市内外の製造業を支える。設計・部品加工・組立・制御と一貫体制を構築しており、3D-CADを使用しウェブでの打合せも行っている。特に部品加工を得意とし、高度な加工、短納期、トラブル対応は佐々木精工へと信頼は高い。さまざまな業界との取引実績により、幅広い製造が可能、最近では大分県の医療機器製造業の認可を受け医療業界への展開を図り、大学病院での新型コロナウイルス感染症治療の現場にも貢献している。

所在地	大分県豊後高田市新地1742番地	設立	1985年
電話/FAX	0978-24-3131/0978-22-1555	資本金	1,000万円
URL	https://www.sasaki-se.co.jp/	従業員数	37人
代表者	取締役執行役員社長 畝 宏志		



経験と研究によって培った 幅広いニーズにも対応可能な技術

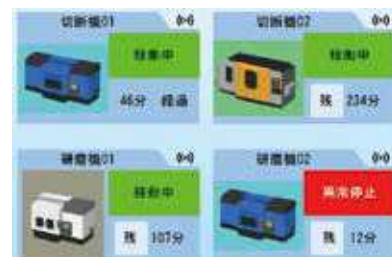
自動機設計 / 製作では、「設計・加工・組立・制御・据付までの一貫した生産体制」のもと、ロボット・画像処理を使った省力化設備の開発、製造を行っている。取引先は、自動車・半導体・住設・食品等幅広い企業と取引がある。特筆する製品としては、自動車メーカー向けに300台以上の導入実績のある、重量1トンのものを簡単に運搬できるパワーアシストユニット、自動車部品向け洗浄機などがある。また医療業界にも進出、新型コロナウイルス感染症の重症患者向け体外式膜型人工肺（ECMO）の専用台車を製造、大学病院へ納品している。



ロボット&パワーアシストユニット

工程を徹底して「見える化」 加工・顧客対応の精度を向上

受注から納入まで、各工程の進捗状況をリアルタイムで把握できるシステムを導入、顧客の問い合わせに精度の高い情報を提供をしている。また、すべての加工設備にセンサーを取付け稼働状況を把握、サーバーに情報を蓄積し、作業の改善にも役立てている。その他にも、5軸制御複合加工機など最新鋭の設備と、3D-CAMプログラミングを組み合わせ、通常設定と熟練作業者との加工比較を行い、その差異を数値で管理することで、一般作業員でも高度な加工精度を実現、製造スキルの継続的向上に繋げている。



稼働状況の見える化

「育て」「守り」「支え合う」人事戦略 非常時に強い組織づくり

シニア世代を積極的に社員として雇用、若手技術者にOJTを実施し、多能工を目指した技能伝承に取り組んでいる。想定外の災害時における事業継続を想定し「事業継続力強化計画」を策定した。避難方法を決定し、従業員に徹底、安否確認のための連絡リスト、SNS、災害伝言板の周知を行っている。さらに、顧客への供給が滞らないよう、同業他社と相互供給契約を結ぶ検討を行うほか、出社できない社員がいても事業を続けるため、多能工化を推し進めている。



組織一丸となり成長する

生産性向上

ものづくり